

# アレルギー対策が大きく前進!

皆さんの署名や要望活動が大きな成果となりました。

## 署名

アレルギー対策強化を訴え、署名活動をする。

アトピー性皮膚炎や、花粉症、気管支ぜん息などのアレルギー性疾患に悩む人が急増。

国民の三人に一人は何らかのアレルギーを持っているとされています。

公明党は、アトピー性皮膚炎を国会で初めて、取り上げるなど対策の強化を訴えてきました。

松 あきら参議院議員



▲アレルギー対策強化を訴え、署名活動をするげんみなみ正保議員。

## 視察

公明党の主張等により小児アレルギーセンターが拡充。

### ◎拡充前の視察

平成十二年、横浜市・小児アレルギーセンターを視察し現状を確認。



▲アトピー・ぜん息などの説明を受ける。

### ◎拡充後の視察

平成十二年十月、横浜市アレルギーセンターへと拡充後、再度視察。

### ◎横浜市はアレルギー疾患医療機能の拡充について発表

- 小児アレルギーセンターを市アレルギーセンターに変更
- 診療科目：小児科をアレルギー科に変更
- 診療対象者：中学生までを成人にまで拡大（喘息・アトピー性皮膚炎など）
- 成人外来の新設による外来診療日の拡大、これによりアレルギー性疾患対策が大きく前進。

## 実現

公明党女性委員会の四六四万人署名から約一年、アレルギー対策が本格化してきました。

### ◎実現した主な施策

- アレルギー対策予算が四倍以上に（二〇〇一年度予算案）
- 国立相模原病院に「臨床研究センター」発足（昨年十月）
- 「免疫・アレルギー科学総合研究センター」開設（今年四月）
- アレルギー原因物質の食品表示義務付け（今年四月）
- 遺伝子組み換え食品の表示を義務付け（今年四月）
- 各都道府県にアレルギーの相談員を養成（二〇〇一年度）

アレルギー「制圧10カ年戦略」の策定を



## 代表質問

平成十三年度、横浜市予算案企画局審査にて代表質問をする。

平成十三年三月十五日、平成十三年度、横浜市予算案企画局審査にて質問に立ったげんみなみ正保は、全国初の国立相模原病院（臨床研究センター）や他の市内施設と二〇〇二年度内に完成予定の「免疫・アレルギー科学総合センター」との今後の連携について、局長に対して質問をし、前向きな答弁を引き出しました。

